

ケヤキの枝の自己相似性について

熊本県立八代中学校 3年 岩田 彩里 瀬高 望
久野和香 米田 彩乃

1. 研究の動機

自然界には多くの自己相似性を持つものが存在する。例えば、木の枝、雲、海岸線などである。本研究では、ケヤキの枝の自己相似性を調べ、その特徴を明らかにすることを目的とした。

2. 研究の実施

本研究では、ケヤキの枝の自己相似性を調べるために、以下の手順を実行した。
① ケヤキの枝を撮影し、デジタル画像として保存した。
② 枝の断面を撮影し、その形状をデジタル画像として保存した。
③ 枝の断面の形状をデジタル画像として保存した。
④ 枝の断面の形状をデジタル画像として保存した。
⑤ 枝の断面の形状をデジタル画像として保存した。

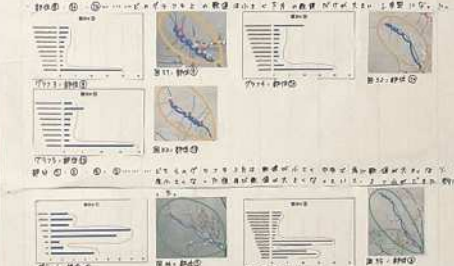


3. 研究の結果

本研究の結果、ケヤキの枝の自己相似性は、以下の通りであることがわかった。
① ケヤキの枝の自己相似性は、断面の形状によって異なる。
② ケヤキの枝の自己相似性は、断面の形状によって異なる。
③ ケヤキの枝の自己相似性は、断面の形状によって異なる。



本研究の結果、ケヤキの枝の自己相似性は、断面の形状によって異なることがわかった。これは、ケヤキの枝の自己相似性が、断面の形状によって異なることを示している。また、本研究の結果、ケヤキの枝の自己相似性は、断面の形状によって異なることがわかった。これは、ケヤキの枝の自己相似性が、断面の形状によって異なることを示している。



本研究の結果、ケヤキの枝の自己相似性は、断面の形状によって異なることがわかった。これは、ケヤキの枝の自己相似性が、断面の形状によって異なることを示している。また、本研究の結果、ケヤキの枝の自己相似性は、断面の形状によって異なることがわかった。これは、ケヤキの枝の自己相似性が、断面の形状によって異なることを示している。

